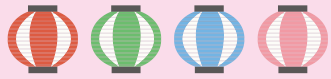


小柳よしふみ 地域活動



劣化していた道路の
舗装改修工事完了@前地地区

安全できれいな道路に整備することができました。
自治会館前工事は次回着工予定。



シェア金沢の視察
@金沢市

広大な敷地内に様々な福祉施設が混在し、障がい者、高齢者、学生、誰もが家族や仲間、社会に貢献できる新しい街づくりの取り組み。



学生の模擬議会の
お手伝い@さいたま市

若者の政治意識の啓発のために、さいたま市議会の委員会室をお借りしての模擬議会を開催。



夏は、神輿だ！

各町内の神輿渡御、中山道の神輿渡御に参加し、多くの皆さんと熱い時間を過ごしました。



さいたま国際マラソン コースマップ

第1回さいたま国際マラソン兼2016リオデジャネイロ五輪女子マラソン代表選手選考競技会が開催されます。

日本代表チャレンジャー・サブ4の他、一般3km、1.5km、親子ファンランの部。11月15日(日)9:10～各レース順次スタート、1万人が駆け抜ける！



みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/



ご来場をお待ちしております！

第17回市政報告会

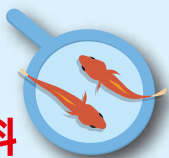
北浦和クイーンズ伊勢丹 3F

日時: 平成27年 **8月30日** (日)

18:30～19:45

会場: 北浦和カルタスホール
第一会議室

入場無料



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2015.8 vol.18

浦和っ子

実りの時に向けて 皆さまの声を！

～魅力的な
さいたま市で
あるために～

暦の上では秋となりましたが、厳しい残暑が続く、埼玉県は全国でも1、2を争うような暑い地域となっております。そんな中、子どもたちは夏休みを迎え、埼玉県知事選挙も行われました。市民生活は、待ったなしという事を日々感じております。小柳よしふみも2期目の任期がスタートし、最初の定例会である6月議会を終えました。

最近、毎日のように今後の日本を変えるような大きなニュースが続いております。安保法制や労働者派遣法の議論、マイナンバー制の導入、地域包括支援システムなど、まさに日本社会の将来像に関わる取り組みや議論がいま行われています。ぜひ、ご注目いただきたく思います。

中でも、子育てや若者の自立、高齢者の介護・福祉の問題は身近な課題であり、地域社会の根幹をなすものであります。小柳よしふみは、これらのテーマを所管する保健福祉委員会の所属になりました。早速、6月定例会の委員会にて質疑も行いました。市民生活の向上や市政の改善に向けて、努力してまいります。

さいたま市はここ5年くらいが街の将来を決める大切な時期であると、清水市長は語っています。上記のような課題の他、さいたま市の魅力の向上には欠かせない浦和駅周辺の再開発事業なども進められています。さいたま市が選ばれる街であるために、住みよい魅力的なまちづくりに努力してまいります。小柳よしふみの活動に、どうかご注目ください。

最後になりますが、体調管理が難しい季節になりました。皆さまにおかれましては、どうかご自愛頂きますようお願い申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- 保健福祉委員会、予算委員会 理事



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

1 プレミアム付商品券の販売は、 8月29日から

市内経済、商店街活性化のために30%のプレミアム付き商品券が発売される。1人5万円まで購入可能。(詳細は裏面参照)



3 さいたまアートステーションが オープン

「さいたまトリエンナーレ2016」をはじめとする、文化芸術に関する市民交流、情報発信の拠点となる。



浦和区高砂2丁目
ナカギンザビル
(中山道沿い)
毎週火・金・日曜
13:00～19:00

2 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムは、 10月24日(土)開催。

さいたま新都心周辺にて開催。現在、オフィシャルサポーターの募集、オフィシャルグッズの販売を開始。詳しくは、公式HPで。

ツールドフランスさいたまクリテリウム



4 埼玉県知事選挙は、 上田きよし氏が当選



上田知事は、4期目となる。心配された投票率は、26.63%となった。投票しやすい投票所づくりなど環境整備が投票率アップのためには必要ではないか。

小柳よしふみが一般質問に登壇！

本会議質問より

新任期最初の定例会が開催され、市長提出議案24件、議員提出議案4件、委員会提出議案2件、請願3件が可決されました。

1 財源づくりを意識した政策のありかたについて

政策メニューにより、生じる歳入に違いがでる。
どのように財源確保を行うのか。

Q 将来の財源創出に寄与する施策をどのような考えにより行っているのか？

A 高齢化により減収が見込まれる観点から、高齢化のスピードを緩めるための施策など、財源を意識した取り組みを進めて行くことが重要であるとする。

小柳の
視点

政策と将来的な財源の創出を意識することが重要。どういう財源メニューで歳入を賄うのかの将来ビジョンが必要で、生産年齢人口の確保や産業振興など、様々な政策のバランスや強弱との整合性を図って進める必要がある。



2 都市間競争を勝ち抜くための浦和駅周辺再開発の推進について

浦和駅周辺の魅力の向上に資する南高砂地区の再開発事業推進、北口改札の利便性の向上に対する支援を求める。

Q 都市間競争に勝ち抜くために重要である浦和駅周辺の賑わい創出に資する南高砂地区再開発に関する市の支援について問う。

A 事業組合との情報共有を行いながら、技術的な指導、助言を行うとともに、必要な財源の確保に努め、事業が円滑に推進されるよう、積極的に支援を行ってまいります。

Q 浦和駅東西自由通路、北口改札に関する議会決議についてのその後の市の対応は？

A 関係部署やJR東日本大宮支社と協議し、新設する北口改札の利用時間を初電から終電までとする要望書を提出した。高架下店舗の開業を見据えた秋のプレスリリースの前に回答が来る予定。

小柳の
視点

本市の最上位計画である総合振興計画において、浦和駅周辺地区は2都心4副都心の都心地区として位置付けられる重要な地区であり、さいたま市としてしっかりとした事業支援の必要がある。

3 災害に強い燃えないまちづくりの推進について

大地震の際に被害を大きく拡大する火災対策の推進が防災の観点から有効である。

Q 防災都市づくり計画について災害リスクが大きいとされた推進地区候補地について、即効性ある対策実現のための補助制度の拡充やインセンティブの付与を求める。

A 個別事業の実施や総合的な住環境の改善を可能とする地区計画の導入に向けては、スピード感が必要と考えている。他都市の先進事例を参考にしながら、制度の導入について検討を進める。

Q 国や埼玉県で普及促進が明記され、横浜市で先行導入されている感震ブレーカー普及のための支援制度の導入を求める。

A 阪神・淡路大震災では火災件数の6割が電気起因するといわれ、電気火災対策は大変重要であると認識している。補助金のあり方も含めて、普及に向けた取り組みを研究する。



小柳の
視点

リスクの高い地域を明示し、対策を進めることは有益である。市が考える地区計画の策定には、地域住民の合意形成など時間がかかる。リスクを提示した以上、即効性のある対策や市民が取り組みやすい環境づくりも必要。特に、感震ブレーカーは有効。

4

24時間いじめ相談窓口のフリーダイヤル化について

解決！

現在ナビダイヤルで行われているいじめ相談窓口のフリーダイヤル化を求める。



お知らせカードも全校配布

Q 現在ナビダイヤルのため、いじめに悩んで電話した子どもが最初に聞く声は、料金案内になっている。フリーダイヤル化し、子どもが電話した際には最初にやさしい言葉をかけるよう改善を求める。

A 電話を掛けた際の最初に流れるアナウンスについて改善できないか検討中である。いじめ問題には全市をあげて取り組み、様々な観点から見直しも図って行く。

小柳の
視点

いじめの問題は、多くの人が傷つき、そして取り返しのつかない事態にもつながりかねない。学校、教育委員会、家庭、地域が一体となって、子どもたちを守って行く協力体制を持つことが必要であるとする。

*24時間いじめ相談ダイヤルは、その後の検討の結果、専用番号(048-838-3939)による運用が開始され、料金アナウンスがなくなった。子どもたちが電話した時には相談員がすぐ声をかけられるシステムに改善された。

保健福祉委員会の質疑から

1

地域包括支援システムの進捗、準備状況は？

Q このシステムは、重度な介護状態や認知症となっても住み慣れた地域で人生の最後まで暮らせるよう、医療、介護、予防、住居、生活支援が包括的に提供されるという壮大な仕組みの構築となる。組織体制や進捗状況は？

A いきいき長寿推進課を設置し、組織を横断する諸課題を検討するための、保健福祉局長をリーダーとするプロジェクトチームで対応していく。職員のスキルアップ、人材確保の体制強化を図って行く。

小柳の
視点

本庁もそうであるが、区役所におけるシステム構築に対する業務量はそれ以上になると予想する。通常業務でも忙しい高齢介護課の現状の体制を一層強化することは急務である。

2

歯科健康診断の推進について

Q 歯科健康診断についての本市の考え方とその効果についてどう考えるのか？

A 国の要綱では10歳ごとになっているが、本市では40歳以上の方全員を対象に実施している。高齢者には口腔機能の維持向上なども重要であり、今後、対象年齢や検診の内容、健診後のフォロー体制など検討して行きたい。

小柳の
視点

専門家である歯科医師会ともしっかりと協議の上、どのような形が市民福祉の向上につながるのか考えるべき。治療よりも予防を重視するという視点は、良いと考える。

3

若者自立支援事業について

Q 大宮区桜木町にあるさいたま市若者自立支援ルーム事業の現状や今後のありかたについての考え方を問う。



A 利用人数は増加傾向にあるが、大宮区近郊の在住者が多く、遠方からの利用者は少ない。2か所目の開設に向けた予算化の検討を行う。利用者数の他、就労、復学、就学などに結び付いた方の数も含めて、事業評価の仕方について検討する。

小柳の
視点

困難を抱えた若者が居場所や自立へ向けた第一歩を踏み出すための重要な役割を担っている。予定されている2か所目の早期設置を浦和エリアで実現することが求められる。就労に拘り過ぎると本事業で救われている若者の存在を見失うと考える。

補正予算の特徴

予算委員会の質疑から

- ①低所得高齢者の経済的な負担の緩和のため介護保険料の軽減策の強化(149,749千円)
- ②低所得者及び子育て世帯支援対策の給付金(臨時福祉給付金 1,228,888千円、子育て世帯臨時特例給付金 504,559千円)
- ③男性不妊治療費の助成事業(137,081千円)
- ④中学校の武道場非構造部材の耐震化改修(1,708,399千円)など